

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17132
事務事業名	観光総務一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 社会情勢は、長引く景気の低迷、人口減少・少子高齢化の進展など著しく変化しており、市の観光を取り巻く環境も厳しい状況にある。一方で、訪日外国人旅行者の増加や北陸新幹線の金沢延伸などにより、さらなる観光振興の可能性も広がってきている。これらの状況に対応するため、域外からの交流人口を増やすことに重点をおき、小売、飲食、宿泊、運輸、サービスなどの地域の幅広い業種に経済的恩恵をもたらせるようにするなど、市における観光振興施策を総合的に展開していくための計画の策定を行う。

事業の目的
 地域振興の新たな牽引力として重要な「観光」について、観光振興施策を展開し観光立市を実現するための取り組みを積極的に行う。
 観光審議会を開催するとともに、温泉地や自然保護、国立公園、山岳観光等の関係機関・団体等との連携を強化し、効果的かつ総合的な観光施策の推進を図る。
 東山周辺地域を重要な観光地域と位置付け、「大町市東山周辺地域観光整備計画」を推進する。

事業内容
 観光審議会の開催、各種団体と連携し事業を展開する。
 H25年度 大町市観光振興計画
 H26年度 大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画
 H27年度 大町市東山周辺地域観光整備計画

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	8,676 千円	8,391 千円	11,493 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	8,676 千円	8,391 千円	11,493 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 観光審議会の開催	回	6	4	1	2	50.0%	2
② 東山周辺地域観光整備計画懇話会	回		2	4	3	133.0%	1
③							

成果指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 観光施策等の策定	本		1	1	1	100.0%	1
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 次期、観光振興計画については、専門コンサルタントに策定業務を委託したいと考えている。H27とH28に実施する観光マーケティング調査のデータを基にした計画の策定に務める。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	低い	高い	一部重複	普通	改善の余地あり
点数	3	1	3	2	2	2
評価	方向性					
	今後の方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等） やり方改善 現在、観光審議会は必要に応じて随時開催し、観光振興計画の策定のほか、観光の振興に関する重要事項について調査・検証・審議を行っているが、そこで出された意見等を踏まえながら、専門コンサルタントに策定業務を委託し、当市の現状に即した振興計画を策定する。 観光は、観光関係者だけでなく他の事業者とも密接な関わり合いがあるため、観光施策を策定する上で他の計画と整合性を図りながらの計画策定に努めたい。				
	評価点合計	13 / 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17133				
事務事業名	観光施設管理事業			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1	目	3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進								
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画					頁	
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
観光客及び市民が安全・安心して利用できる観光施設の適切な維持管理と老朽化した施設の改築、改修を行う。

事業の目的
観光施設の適正な維持管理のために、施設改修・更新を計画的に実施する。
大田市アミューズメントハウス及び大町温泉郷森林劇場については、指定管理者制度を導入して経費の節減を図ると共に、民間による創意工夫に基づいた利用者の拡大に努める。

事業内容
観光施設及び温泉管の維持管理、新設、修繕等
指定管理：大田市アミューズメントハウス、大町温泉郷森林劇場
H26年度 扇沢市営第2駐車場、若一王子神社公衆トイレ改築、塩の道観光案内看板（中綱神社）ほか
H27年度 大田市アミューズメントハウス配管ポンプ交換工事、三十三番札所案内標柱 ほか

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	118,862千円	113,127千円	58,877千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	37,516千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	118,862千円	75,611千円	58,877千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	管理施設	箇所	8	8	8	8	100.0%	8
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	修繕施設	箇所	13	11	15	10	150.0%	10
	②	新設工事	箇所	4	4	1	1	100.0%	1
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
年次計画による観光施設（トイレ等）の整備・修繕計画の作成ができていないのが課題である。H29からはゆーぴす木崎湖等の施設について、年次計画を作成して対応したい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	一部重複	普通	適正である
点数	3	3	2	2	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	緊急性や有効性などの優先度を把握する中から、観光施設の計画的な改修を行い、財源については補助事業や有利な起債等の活用に努める。利用者からのニーズ把握にも努め、可能な範囲で要望を取り入れた施設整備を図っていく。				
	評価点合計	15	/ 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17134
事務事業名	登山道改修補助事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 「山の日」が制定され、これを機に山への関心も高まるものと思われる。山岳文化都市として、貴重な山岳環境を保全し次世代に引き継いでいくため、また、全国から訪れる登山者を迎え入れていくため安全な登山活動ができるように登山道の維持管理を行う。

事業の目的
 山岳関係者と協議し登山道の重点整備箇所を選定し整備・改修を行う。
 また、山小屋関係者と登山道等の維持管理について協議を行い、安全で良好な登山道の維持管理に努める。

事業内容
 H25年度整備箇所 竹村新道周辺登山道
 H26年度整備箇所 針ノ木岳登山道
 H27年度整備箇所 ブナ立登山道、餓鬼岳登山道、針ノ木岳登山道、竹村新道周辺登山道

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,225 千円	765 千円	3,036 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,225 千円	765 千円	3,036 千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 登山道改修要望	箇所	1	1	4	7	57.1%	3
②							
③							

成果指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 登山道整備箇所	箇所	3	1	4	5	80.0%	3
② 登山者数	人	87,300	88,300	83,700	89,000	94.0%	89,000
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 現在は山小屋関係者と連携して登山道改修の支援を行っているが、今後、国・県の補助事業等を活用した登山道整備が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	低い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	1	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	平成28年度からの「山の日」の制定や一昨年制定された「信州山の日」などを契機とし、登山に訪れる観光客が増えることを考慮するとともに、客層も老若男女と幅広い方々が訪れるため、登山者の安全を考慮した整備が望まれている。 平成27年度から補助金の交付要件等を見直し、より数多くの登山道整備を対象とできるようにした。また県山岳環境連絡会を通じ補助金等の活用を検討する。				
	評価点合計	13	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	17141				
事務事業名	宣伝誘客イベント事業			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1	目	4
施策目標	次代とニーズに対応した観光の推進								
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画	大田市観光振興計画				頁	
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
観光関係者・地元住民等との協働によるイベント開催と誘客宣伝及びパブリシティ活用を目的に、各種イベントの開催や運営支援を行った。

事業の目的
住民参加や地域、観光従事者などと連携した取り組みにより、行政主導のイベントではなく大都市の特色を生かしたイベント事業を実施した。
イベント実行委員会による企画・運営を行うことにより、官民一体となった「協働のまちづくり」が実践され、観光客の宣伝誘客に寄与した。

事業内容
アルペンルートオープンカーニバル、塩の道祭り、針ノ木岳慎太郎祭、若一王子神社夏祭り、木崎湖花火大会、紅葉トレッキングや雪まつり等の開催支援を行う。
また、大田市観光協会等と連携し、新たなイベント開催の検討に取り組む。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	7,098千円	60,552千円	62,146千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	7,098千円	60,552千円	62,146千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① イベント実行委員会	回	5	5	5	5	100.0%	5
② 各種イベント	回	3	3	3	3	100.0%	3
③							

成果指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
1. 数値で表せる指標							
① オープンカーニバル	人	412	421	400	300	133.3%	400
② 塩の道まつり	人	809	710	940	1,000	94.0%	1,000
③ トレッキングイベント	人	275	70	321	350	91.7%	350
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
立山黒部アルペンルートの6月以降の閑散期における誘客対策が最大の課題と認識している。今後の方向性で示してあるような方法を取り入れていきたい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	普通	普通	高い	重複なし	高い	改善の余地あり	
点数	2	2	3	3	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	立山黒部アルペンルートオープンカーニバルについては、安全祈願祭とイベントの日を別の日に開催することで、参加者も県外から参加できるようになり、宿泊にもつながることとなり、一定の評価をしているが、6月の閑散期対策としてオープンカーニバルを実施するよう見直しを検討する。今後においても、既存のイベント内容を見直し、目的を明確にして改善できるものは、改善する。また、商店街とイベントの連携もできたことから、市街地への誘導にもつながるようになったが、更に商店街への誘導に努めるよう、商工会議所や商店街等との連携を模索する。				
	評価点合計	15	/ 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	17142				
事務事業名	観光振興事業			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1	目	4
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進								
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画					頁	
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 観光客の増大等の観光振興を図るため、市観光協会など観光関係者をはじめ各種協議会、事業者などと連携し誘客宣伝事業を展開した。
 観光客の多様なニーズに対応するため、目的に応じたパンフレットを作成するとともに、テレビやラジオ、旅行雑誌、新聞、ホームページなどを通じて観光情報を発信した。
 また、周辺自治体や関係団体等と連携し、広域的な観光客の受け入れを図り滞在型周遊型の観光を推進する。

事業の目的
 本市の魅力ある観光資源の情報を積極的に国内外に発信するとともに、さまざまな観光キャンペーンを行い滞在型周遊型の観光誘客に取り組んだ。
 観光消費額の増大による地域振興と活性化を目指し、観光客の受け入れ体制を強化するとともに、観光案内の充実や観光ガイド人材の育成、広域観光拠点をつなぐ2次交通の整備など、広域観光の推進に取り組んだ。

事業内容
 観光案内や宣伝等の充実のための市観光協会への支援、観光団体と連携した観光キャンペーンの展開、2次交通の整備による受入体制の強化、パンフレット等の印刷物やテレビ・ラジオなどのマルチメディアを通じた観光情報の発信、周辺自治体等と連携した広域観光の推進を行った。またインバウンド事業は、地方創生交付金を活用し、インバウンドメディア戦略事業、カルチャープログラム事業等を行った。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費 財源内訳	総事業費(決算額)	88,679千円	88,729千円	47,343千円
	国庫支出金			17,229千円
	県支出金	14,258千円		
	起債			
	その他財源			
	一般財源	74,421千円	88,729千円	30,114千円

活動指標	指標名	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	市観光協会HPアクセス	件	309,027	446,819	587,606	480,000	122.4%	600,000
②	市観光協会案内(窓口・電話)	件	22,568	23,309	28,200	25,000	112.8%	28,500
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度(H27)	達成率	次年度(H28)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	観光入込数	千人	2,914	2,771	2,811	3,100	90.7%	3,100
	②	観光消費額	億円	125	117	123	130	94.6%	130
	③	黒部ダム外国人観光客数	千人	148	192	214	185	115.7%	215
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 市内及び広域連携の二次交通の整備・拡大が課題である。市域では「ぐるりん号」の北コースの整備や鷹狩山・霊松寺方面へのコースの拡大、広域連携では各市町村単独で運行している周遊バスとの乗り継ぎ方法の確立が課題である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	普通	高い	一部重複	高い	改善の余地あり	
点数	3	2	3	2	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	拡大	観光は、当市の基幹産業の一つであり他産業の振興や雇用など地域経済への波及効果は大きい。ため、継続して誘客宣伝に取り組む必要がある。 また、市観光協会や協議会等が主体となって観光イベントや誘客キャンペーン、情報発信などを行っているが、今後も継続して連携と支援をするとともに、組織全体の見直しと強化を図り、協会のあり方を検討する。インバウンドについては、ビザの緩和等により、入込は好調であった。今後も、立山黒部貫光(株)や関電と連携し、台湾の中心に、タイなどのASEAN諸国の更なる誘客に結び付ける。 HPのアクセス数が増加してきていることは、HPのリニューアルにより、一定の成果があったと認められる。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	国営公園振興係	事務事業No.	17144
事務事業名	国営公園振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	7 項 1 目 4
施策目標	自然環境と調和した国営公園の整備促進				
後期計画掲載頁	97	頁	個別計画	大田市観光振興計画	頁
事業期間	平成	年	～	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 国営公園を地域振興の中核として活用するため、行政機関、経済団体、観光事業者などが一体となって協力し合い、国営公園を生かした地域振興を図るために事業の支援を行う。

事業の目的
 国営公園を生かした地域振興を図るために事業の支援を行うことで、国営公園の来場者の増加に繋げる。

事業内容
 国営公園を生かした地域振興策に関する情報収集と調査・研究及び観光・商業その他分野の情報を集約する。地域の特性を生かし、国営公園と共同した観光戦略の研究開発・情報発信、国営公園事業への支援を行う。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	218千円	212千円	157千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	218千円	212千円	157千円

活動指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 地域振興会議	回	3	3	0	3	0.0%	
② 連絡協議会	回	1	1	1	1	100.0%	1
③							

成果指標		平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① 入園者数	人	130,700	127,800	166,800	180,000	92.7%	180,000
②							
③							
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 本年度整備したMTBコースの有効活用方法の検討が課題である。公園サイドでは初心者を中心に練習用コースとしての利用を考えているが、大会を誘致して誘客の増加を図る施策を実施したい。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	低い	改善の余地あり
点数	3	2	2	3	1	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	3年毎に国営公園委託管理者が代わり、その度、方針が変わる場合があり、苦慮している。併せて、入込数が減少傾向にあるため、歯止めをかけるための取り組みが必要。また、地域振興推進会議については、会議の在り方を検討した結果、新たな枠組みでの組織とするよう検討している。H28年6月には全園開園となる事から、さらなる誘客に向けたプロモーションが必要となる。				
	評価点合計	13	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	171422
事務事業名	線越明許費観光振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 4
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
 インバウンド客を中心とした観光客の増大等を図るため、インバウンドメディア戦略事業、信濃大町カルチャープロジェクト事業及びふるさと旅行券事業を展開した。
 インバウンドメディア戦略事業と信濃大町カルチャープロジェクト事業については、本市の魅力ある観光資源の情報発信と観光客の受け入れ体制強化を行い、ふるさと旅行券事業では経済的波及効果を図った。

事業の目的
 本市の魅力ある観光資源情報を積極的に国内外に発信するとともに、当市へ滞在し周遊することで観光消費額の増大を図り地域振興と活性化を目的とした観光誘客に取り組んだ。

事業内容
 インバウンドメディア戦略事業では、立山黒部アルペンルートでの訪日外国人観光客の大半を占める台湾に対して、当市の観光スポット情報発信のため、台湾人気番組の招聘および現地での放映、旅行商品造成宣伝、及び誘客用雑誌掲載。信濃大町カルチャープロジェクト事業では、インバウンド客に対する飲食の専用WEB、誘客チラシの作成、PR動画作成と日本文化体験プログラムの造成。ふるさと旅行券事業では、エージェントに対するオプショナルツアー助成、及び貸切バスツアー助成を実施。

年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	総事業費（決算額）	千円	千円	17,978 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	15,515 千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	千円	千円	2,463 千円

指標名		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
活動指標	① ふるさと旅行券販売額	千円			176,088	150,000	117.4%	—
	② 信濃大町カルチャーHPアクセス	件			6,299	5,000	126.0%	—
	③ 台湾メディア配信（Youtube）	千件			2,070	1,000	207.0%	—

1. 数値で表せる指標		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度（H27）	達成率	次年度（H28）
成果指標	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 観光入込数	千人		2,771	2,811	3,100	90.7%	3,100
	② 観光消費額	億円		117	123	130	94.6%	130
	③ 黒部ダム外国人観光客数	千人		192	214	185	115.7%	215
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	高い	一部重複	普通	改善の余地あり
点数	3	2	3	2	2	2
評価	方向性					
	今後の方向性	やり方改善 観光は、当市の基幹産業の一つであり他産業の振興や雇用など地域経済への波及効果は大きい ため、継続して誘客宣伝に取り組む必要がある。 また、今回は国交付金を活用して、インバウンド客を中心とした観光客の増大等を図る事業や消費 喚起効果を図るふるさと旅行券事業が実施できた。今後、好調であるインバウンド客に対して、大 町市インバウンド推進協議会を中心として、(株)関西電力、立山黒部観光(株)、大町温泉郷等の民間 団体と連携し、台湾を中心に、タイ、シンガポールなどのASEAN諸国の更なる誘客に結び付け る。				
	評価点合計	14 / 18				